

あぶしん景況レポート 2025年1～3月期



総合企画部

Vol.19 2025.4発行

当地区の概況

【業種別天気図】

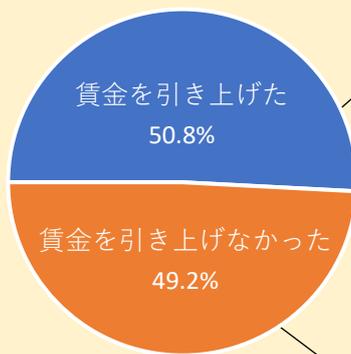
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2024年 10～12月								▲ 14.2
2025年 1～3月								▲ 11.7
2025年 4～6月 (見通し)								▲ 14.2

- 2025年1～3月期（今期）の業況判断D.I.は▲11.7で前期比2.5ポイントの改善だった。業種別に見ると製造業は35.0ポイント改善の▲5.0、卸売業は38.9ポイント悪化の▲50.0となった。
- 2025年4～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲14.2と、今期実績比2.5ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 2025年（令和7年）の賃金引上げ実施状況 -

- 2025年中の賃金の引上げについては、「引き上げた」が50.8%と前年調査（2024年3月調査、47.9%）から2.9ポイント上昇したのに対し、「引き上げなかった」は49.2%となった。
- 引き上げた企業の内訳をみると、「0%以上2%未満」の割合が前回調査から低下したのに対し、「2%以上」の階層は上昇した。引き上げなかった企業の内訳をみると、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」が最も多く15.0%だった。



引上げ率	割合
0%以上2%未満	15.0%
2%以上4%未満	15.8%
4%以上6%未満	17.5%
6%以上	2.5%

引上げなかった理由	割合
賃上げに見合う価格転嫁ができていない	15.0%
自社に従業員はいない（家族経営など）	10.0%
今後の業績見通しが不透明	8.3%
これまでに賃金を引上げ済み	7.5%
売上の低迷や伸び悩み	6.7%
同業や同地域内の他社があげていない	1.7%

【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	35.0	15.0	35.0	15.0	▲ 15.0
	実績	5.0	25.0	35.0	15.0	20.0	▲ 5.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	40.0	10.0	40.0	10.0	▲ 10.0

業況判断D.I.は前期（実績）より35.0ポイント改善し、▲5.0となった。前期より悪い・やや悪いと回答した先が減少し、大幅改善となった。経営課題では仕入先からの値上げ要請と回答した先が増えた。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	60.0%
2 原材料高	45.0%	50.0%
3 人件費の増加	30.0%	35.0%
3 仕入先からの値上げ要請	30.0%	20.0%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	55.0%	45.0%
2 経費を節減する	45.0%	20.0%
3 機械化を推進する	40.0%	30.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	11.1	38.9	38.9	11.1	▲ 38.9
	実績	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7	▲ 50.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	11.1	50.0	33.3	5.6	▲ 27.8

業況判断D.I.は前期（実績）より38.9ポイント悪化し、▲50.0となった。良い・やや良いと回答した企業は無く、調査開始以来最低の▲50.0となった。来期（予想）D.I.は22.2ポイント改善の▲27.8となる見通し。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	66.7%	66.7%
2 利幅の縮小	44.4%	50.0%
3 同業者間の競争の激化	38.9%	38.9%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	77.8%	66.7%
2 経費を節減する	55.6%	50.0%
3 人材を確保する	27.8%	22.2%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	4.8	23.8	61.9	9.5	0.0	19.0
	実績	9.5	23.8	52.4	14.3	0.0	19.0
来期 (4-6月)	予想	9.5	23.8	52.4	14.3	0.0	19.0

業況判断D.I.は前期（実績）より19.0ポイント上昇し、19.0となった。特別調査では、約6割の企業が賃金の引き上げを実施したと回答しており、そのうち約7割以上の企業が2%超の引き上げを行っている。

○経営課題

（複数回答）

項目	今期	前期
1 利幅の縮小	38.1%	42.9%
2 人件費の増加	33.3%	28.6%
3 仕入先からの値上げ要請	28.6%	33.3%

○重点経営施策

（複数回答）

項目	今期	前期
1 経費を節減する	57.1%	47.6%
2 人材を確保する	42.9%	33.3%
3 教育訓練を強化する	23.8%	14.3%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	10.0	55.0	35.0	0.0	▲ 25.0
	実績	0.0	25.0	50.0	20.0	5.0	0.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 10.0 ポイント改善し、0.0 となった。物価高による利益圧迫の声も聞かれるものの、今期の業況を「やや良い」と回答する企業が増加し、全体として改善が見られた。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	50.0%	50.0%
2	材料価格の上昇	40.0%	45.0%
3	売上の停滞・減少	35.0%	40.0%
3	人件費の増加	35.0%	30.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	55.0%	60.0%
2	販路を広げる	45.0%	50.0%
3	経費を節減する	35.0%	40.0%
3	宣伝・広告を強化する	35.0%	25.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	4.8	57.1	33.3	4.8	▲ 33.3
	実績	0.0	9.5	57.1	28.6	4.8	▲ 23.8
来期 (4-6月)	予想	0.0	9.5	47.6	38.1	4.8	▲ 33.3

業況判断 D. I. は前期（実績）から 4.8 ポイント改善し、▲23.8 となった。引き続き材料価格の高騰と人手不足が課題として挙げられている。来期（予想）D. I. は 9.5 ポイント悪化の▲33.3 の見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	52.4%	57.1%
2	材料価格の上昇	47.6%	52.4%
2	売上の停滞・減少	47.6%	38.1%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	66.7%	57.1%
2	経費を節減する	57.1%	52.4%
3	販路を広げる	38.1%	52.4%
3	技術力を高める	38.1%	33.3%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	5.0	5.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
	実績	0.0	0.0	85.0	10.0	5.0	▲ 15.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	70.0	20.0	5.0	▲ 20.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 20.0 ポイント悪化し、▲15.0 となった。重点経営施策として不動産の有効活用を図ると回答した先が増えた。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	同業者間の競争の激化	40.0%	40.0%
2	売上の停滞・減少	35.0%	30.0%
3	利幅の縮小	25.0%	30.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	不動産の有効活用を図る	35.0%	25.0%
2	情報力を強化する	25.0%	25.0%
2	経費を節減する	25.0%	15.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

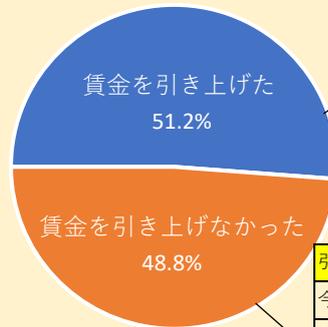
回答社数: 12,817社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2024年 10~12月								▲ 2.6
	2025年 1~3月								▲ 9.1
	2025年 4~6月 (見通し)								▲ 6.4
東北	2025年 1~3月								▲ 28.9

- 全国の2025年1~3月期(今期)の業況判断D.I.は▲9.1、前期比6.5ポイント低下と、4四半期ぶりの改善一服となった。2025年4~6月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲6.4と、今期実績比2.7ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2025年1~3月期(今期)の業況判断D.I.は▲28.9と、前期比12.0ポイント悪化した。2025年4~6月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲22.3と、今期実績比6.6ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 2025年(令和7年)の賃金引き上げ実施状況 -

- 2025年中の賃金引き上げについては、「引き上げた」が51.2%と前年調査(2024年3月調査、49.0%)から2.2ポイント上昇したのに対し、「引き上げなかった」は48.8%となった。
- 引き上げた企業の内訳をみると、「0%以上2%未満」の割合が前回調査から低下したのに対し、「2%以上」の階層は軒並み上昇した。引き上げなかった企業の内訳をみると、「今後の見通しが不透明(12.5%)」、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない(11.0%)」と続いた。



引き上げ率	割合
0%以上2%未満	21.4%
2%以上4%未満	19.7%
4%以上6%未満	7.9%
6%以上	2.1%

引き上げなかった理由	割合
今後の業績見通しが不透明	12.5%
賃上げに見合う価格転嫁ができていない	11.0%
自社に従業員はいない(家族経営など)	9.9%
これまでに賃金を引上げ済み	7.5%
売上の低迷や伸び悩み	5.8%
同業や同地域内の他社があげていない	2.0%

全国の調査員からのコメント

- 人手不足を外国人労働者の雇用でカバーしているが、優秀な従業員が多く助かっている。(精密部品製造 長野県)
- 仕入価格や賃金の上昇で利益圧迫。価格転嫁したいが、取引先の了解を得られるか不透明。(食肉等販売 愛知県)

【調査要領】

1. 調査時期 2025年3月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。